



さっぽろ子ども・若者支援地域協議会主催

子ども・若者支援セミナー

家族を孤立させない 子ども・若者支援を考える

「あとしばらく見守りましょう」という言葉が、専門機関ではしばしば使われます。しかし、子ども・若者・親の SOS の多くは相談室を出たあとや、学校を卒業したあと、見守りが途切れたところで生じています。**専門家だけ**に任せるのではなく、**家族だけ**に背負わせるのでもなく、地域社会をあげて「子ども・若者とその家族を見守る」ことを私たち全員で考えてみませんか。

【講師】

NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会
理事長 寺出 壽美子さん



2019 年

11 月 8 日 (金) 18:30~20:30 (18:15 開場)

札幌市男女共同参画センター（札幌エルプラザ） 3 階 ホール
札幌市北区北 8 条西 3 丁目 【JR 札幌駅北口より徒歩 3 分】

対象：子ども・若者支援に関心のある方

定員：100 名 参加費無料 ※事前の申し込みが必要です

【プログラム】

18:15 開 場

18:30 開 会

話題提供「専門機関・地域・家族それぞれの役割と連携」

講師：寺出 壽美子さん（NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長）

（休憩）

19:20 パネルディスカッション「家族ごと支え、見守るための地域連携づくり」

司 会：松田 考（Youth+センター館長）

パネリスト：寺出 壽美子さん

森岡 祥広さん（札幌市児童相談所相談判定二課相談三係長）

奥山 玲子さん（札幌市教育委員会児童生徒担当課セラピスト）

塩見 卓也さん（北海道警察本部少年サポートセンター被害少年支援・育成係長）

20:30 閉 会

講師プロフィール

寺出 壽美子さん (NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会理事長)

1970年、慶應義塾大学文学部社会心理教育学科卒業。高校の教員、子どもの本屋店長、不登校児童も含めた学習塾代表等を歴任。

虐待、いじめ、不登校・ひきこもり、家庭内暴力、薬物、少年事件、嗜癖、摂食障がいなど、多岐にわたる子どもとその親への面接相談や、支援に関わっている。不登校・ひきこもり等の子ども・若者への「ユースワーカー」派遣や子ども・親を支える「ケアワーカー」派遣、少年事件の少年への支援を担当。社会福祉士。

<共著>「家庭訪問型子育て支援ハンドブック」(明石書店)、「いじめ、いま親にできること」(木馬書館)など

子ども・若者支援セミナー参加申込書

[送付先 : FAX 011-231-2884 ・ メール center@sapporo-youth.jp]

お名前	
ご所属機関名	
電 話	
メール	
事前に質問がありましたらご記入ください ※当日のご質問は受けられませんのでご了承ください	

※いただいた個人情報につきましては、主催者からの連絡以外に使用することはありません

申 込
問い合わせ

上記の内容を、電話・FAX・メールいずれかでお送りください。
※メールの場合は件名を「11/8 セミナー申込」としてください

【さっぽろ子ども・若者支援地域協議会調整機関】
Youth+センター (札幌市若者支援総合センター)
札幌市中央区南1条東2丁目バスセンタービル2号館
[電話] 011-223-4421 / [FAX] 011-231-2884
[メール] center@sapporo-youth.jp